

Tuuli

トゥーリ

2012年3月15日発行

日の光がやわらかくなってきました。「はるうらら」という言葉があります。その言葉の響きがとても優しく、待ちわびた春にピッタリです。どうか今年は、穏やかでゆったりとしたのどかな春が日本中の方々のもとに届きますように。

日本の四季とオペラを楽しむコンサートのお知らせ

オペラ演出家であり国立音楽大学客員教授の中村恵一氏の構成による音楽会が行われます。ボランティアの皆様もどうぞお越しいただき、一緒にお楽しみください。

日時：平成24年3月27日（火曜日）13:30～

場所：至誠デイホーム ウェストホール

出演：国立音楽大学学生
ソプラノ・バリトン・ピアノ演奏

曲目：春の小川、どじょっこ ふなっこ、うれしいひな祭り、こいのぼり、夏の思い出、まっかな秋、たきび、雪の降るまちを、ジュピター、夜の女王のアリア、魔笛他

参加費：無料

申込：ボランティアコーナーまでお声かけください。



財団法人 立川市地域文化振興財団 コミュニティ奨励賞 受賞のお知らせ

この賞は文化・芸術の分野において、地域で他の模範となる善意の行為や継続的なボランティア活動を行っている方を表彰するものです。昨年度まではボランティア活動全般が選考の対象でしたが本年度からは、文化・芸術における活動となりました。そして今年も至誠ホームより2名の方の受賞が決まりました。

お一人は岩下昭子さんです。岩下さんはデイホームで昭和61年から23年間にわたり、「陶芸」と「きり絵」活動の指導をしてくださっています。ご自身も教室に通い研鑽を続け、利用者と会話を楽しみ、心を添わせて活動をして下さっています。今回その作品もホールに展示されます。

もうお一人は同じくデイホームと和光ホームの2か所でフラと手話ダンスの指導をしてくださっている尾園栄子さんです。平成8年から15年間にわたって「皆さんと楽しく仲良く」をモットーに指導をして下さっています。クラブのメンバーは全員おそろいの衣装を着けて舞台に立つことを目標に練習をしておられます。

お二人の授賞式は3月17日（土曜日）アミューたちかわで行われます。

このお二人に限らず至誠ホームは大勢のボランティアの皆様を支えていただいています。そのような活動に深い感謝をささげたいと思います。

ボランティア保険加入手続きのお願い

皆様方のご協力のおかげで、すでに大勢の方々がお申し込みくださっています。事務手続き簡素化のため、3月中にお申込みいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

補償内容の変更ですが、本年度、熱中症も保険の対象になりました。ただ死亡後遺障害補償金額が減額になります。下記のURLで23年度と24年度の詳しい内容がご覧いただけます。またボランティアコーナーにもパンフレットをご用意しておりますので、御入用の方はご遠慮なくお声かけください。皆様にはBプラン（年間保険料500円、補助250円）にお入りいただいています。

<http://www.tokyo-fk.com/document/V1-hokennaiyou.pdf>

ホーム喫茶ボランティア交流会のご報告

特養2階のホールの横で毎週末の金・土・日に、ホーム喫茶が開店します。そこでもボランティアさんが活躍してくださっています。先日初めて、小さな交流会を持ちました。

まず岡田企画推進本部長より、ホーム喫茶の意義についての話がありました。

「特養は昭和52年に開設した。特養利用者で介護度の高い人は外に出かける機会が少ない。喫茶店を設置するということは、自分で出かけ、自分で好きなものを注文し、自分でボランティアさんとお金をやり取りする機会ができる。そうすることで、いつまでも社会とかかわりを持ちながら生活をする感覚を持ち続けてもらいたい、との思いであった。

最初は栄養課の職員が調理を担当していた。ボランティアさんにはその当時からお手伝いをいただいている。介護保険の開始後は給食が委託となり、現在は食工房707に運営をお願いしている。

分量やメニューは特養入所者の利用を前提として決めている。今はご家族やボランティアさんにも幅広くご利用いただいている。ただ職員の利用に関しては、至誠ホームの利用者の方々を優先し、席の空いているときに利用できるように周知していく。」

活動中のボランティアさんからも活発な意見が出ました。活動内容についてマニュアルが必要という声もありました。また食器の消毒の方法、ホーム喫茶のアメニティ、忙しい時の対応方法、伝票の書き方など本当にみなさんそれぞれに知恵を絞ってご活動いただいていることに感謝の気持ちで一杯になりました。

ご意見をいただいた点については現在対応を検討中です。このように小さな単位での交流会をもつことで、課題を出し合い、共に考えることで、より良い活動に繋げていかなければならないと思っています。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



ふれあい夕ごはん配達ボランティア募集

至誠ホームでは栄養のバランスの取れたお弁当を、買い物や食事の支度が困難な高齢者の方へお届けしています。Tuuliでその配達の募集を出すたびに、応募してくださる方がいて、大変ありがたいと思っています。ただ、まだまだ皆様のご支援を必要としており、再度募集させていただきます。現在、壮年男性グループやご夫婦ペアなどで様々な方々が活動してくださっています。

是非ご家族やお知り合いの方にもお声かけください。どうぞよろしくお願いいたします。

- ▶募集人数：数名
- ▶配達時間：16：45～17：30（配達件数によります）
- ▶曜日：月・金（どちらか1日でも結構です）
- ▶配達先：錦町・柴崎町・富士見町・羽衣町・曙町
- ▶軒数：2～3軒（1軒でも結構です）

詳しくはボランティアコーナーまで お問い合わせください。



フィンランドからの研修生のご紹介

至誠ホームは海外との積極的な交流を図っています。日本側からは平成4年から全13回29名の職員が「橋本基金」を利用し、スウェーデン、フィンランドで研修を受けました。海外からの研修生の受け入れも全11回23名となりました。

今回3月30日までの予定でお二人の方がフィンランドからお越しになっています。リッカ・カムネンさん(理学療法士・写真左)とエリサ・モイサンダーさん(レクリエーションセラピスト・写真右)です。どうぞよろしくお願い致します。

福祉分野ではフィンランドはすべてにおいて進んでいると思いがちです。お二人は反対に日本の進んでいる点をいろいろ教えてくださいました。その一つは、ボランティアさんです。フィンランドは制度が整っているからでしょうか、ボランティアさんはとても少ないのだそうです。至誠ホームでのボランティアさんたちの活動をご説明すると「日本はどうしてこんなにボランティア精神が高いのですか？」と尋ねられました。交換研修を続けているパキラホームではボランティアさんの数が増えているそうです。とてもうれしいことです。ボランティアさんは至誠ホームの宝物です。

発行 社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム 企画推進本部 企画調整 ボランティア担当 寺澤・関口

連絡先 〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel：042-527-0035 Fax：042-527-2646
E-mail：shisei-volunteer@shisei.or.jp HP：<http://www.shisei.or.jp>